

## 平成30年度 竜丘公民館 事業報告

事業名等	実施内容	反省・総括
第40回 竜丘市民大学講座	<p>テーマ: 竜丘再発見</p> <p>第1講 6/23 天竜川鷺流峡復活プロジェクト 参加: 18名 講師: 曾根原宗夫</p> <p>第2講 9/9 民俗資料保存委員会 参加: 27名 講師: 下平隆司、今村文一</p> <p>第3講 2/16 古墳にまつわる素朴な疑問 参加30名 講師: 小林正春、下平隆司、今村文一</p>	<p>第1講は、新しい取り組みから竜丘を見た。</p> <p>第2講では、長く取り組まれているものを取り上げたが、話だけではなく、体験型で実施。</p> <p>第3講は従来の聞くだけの講演ではなく事前に質問を集め、それに回答する形で開催。</p> <p>様々な角度から、また手法も工夫することで竜丘を再発見できた。</p>
ふるさとコンサート	<p>期日: 7/16(月・祝)</p> <p>参加: 130名</p> <p>演奏: 新日本フィルハーモニー交響弦楽団 弦楽五重奏「アンサンブル錦」</p> <p>協力: そばの会「野楽路」 竜丘小PTA父親母親委員会</p>	<p>かつてないほどレベルが高く素晴らしかった。弦楽ということもあって緑ヶ丘中学校・竜丘小学校と合同演奏が企画できなかったが来年は声を掛け、実施したい。野楽路にご協力いただき、交流会も楽しくできた。</p>
いいだ人形劇フェスタ 竜丘地区公演 併催: 世界人形劇 フェスティバル	<p>期日: 8/3～8/12</p> <p>参加: 1,561名</p> <p>本館: 4会場(小学生・中学生・高校生のボランティアスタッフを募り実施)</p> <p>分館: 5会場(分館ごと交流や催し物など特色ある取り組みを実施)</p> <p>竜丘保育園: 1会場(初)</p> <p>緑ヶ丘中学校区: 1会場(世界フェス)</p>	<p>例年より子どもスタッフが多く来てくれ、良い雰囲気での地区公演をつくることが出来た。交流会をみんなで行うことができ、楽しい時間を皆で共有することが出来た。分館でも子どもスタッフを募って世代間交流の機会になると良いなどの反省が上がった。保育園公演、海外劇団も素晴らしかった。</p>
竜丘地区文化祭	<p>期日: 11/10(土)、11(日)</p> <p>参加: 1,000名</p> <p>(1) 地区内団体、グループ、個人が日頃の活動の現状や成果を発表、交流する。</p> <p>(2) 地域における文化活動を活発化させ、地区民の親睦を図る。</p> <p>(3) 公民館と参加団体による実行委員会を組織して企画、運営にあたる。</p>	<p>特別企画展「竜丘出身染色家三人展」は大盛況であった。また、トンボ玉づくり、竹とんぼづくりでは中学生ボランティアが大活躍した。片付けも皆の協力で短時間ででき、竜丘の力を感じる文化祭となった。賑やかしの風船を持って行かれてしまう問題については来年度の検討。来年の特別企画展は竜丘小学校で開催された第2回全国児童自由画展から100周年の節目であることから自由教育(自由画等)を取り上げたい。</p>
成人式	<p>期日: 1/13(日)</p> <p>参加: 154名</p> <p>地域を担う若者たちのために、鈴岡太鼓の演奏、野楽路、おいしんぼプラザの料理、長野原煙火会の花火など、地域をあげて新成人を祝福し激励。実行委員会を組織し、新成人自ら企画運営に携わり、成人式を通じて、地域を知り、地域へ参画する第一歩とした。</p>	<p>記念写真前列は振袖が映えるよう女性とし、1人1人がより大きく映れるよう役員は入らないようにしたが、好評であった。祝賀会の時間を105分から90分に短縮したが、花火の時間にまだ日が落ちておらずクラスごとの写真を撮るなどして調整した。来年は成人式の開始時間を30分遅らせる等の変更をしたい。成人年齢が18才に引き下げられることに伴い開催時期等の検討が必要。</p>
第24回 ニューイヤーコンサート	<p>期日: 1/20(日)</p> <p>出演団体数: 15団体</p> <p>出演者: 大人181人、子ども103人</p>	<p>昨年は出なかった4団体が出演いただけた。多彩なジャンルを楽しむことが出来た。</p> <p>多少のハウリングはあったが大きなトラブル等なくできたのは良かった。</p>

文化事業

## 平成30年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
体育事業	夏季スポーツ大会	期日:5/20(日) (参加人数)150人スポーツを通じて、地域住民の親睦交流と、健康の維持増進を図り、活力ある地域づくりにつなげる。今年、昨年に引き続きクブを採用。コートも2面から4面に増やして実施し、ニュースポーツの推進を図った。	スポーツを通じて地区の皆さんが交流できた。こういった場はとても大切だと考える。暑さ対策やいつも来ない方も参加できる工夫をしていきたい。引き続き分館の皆さんにご理解・ご協力をいただきながら地域の輪が広がる機会としていきたい。
	竜丘市民運動会	(期 日)10/7(日) (参加)900名 ・地域住民が親睦・交流を深める ・健康増進 ・誰もが参加でき、楽しめるよう種目内容を工夫する。 ・中学生スタッフに協力してもらえよう、積極的に働きかけを行う。 ・昨年度、地域人教育の一環で高校生が提案した住民の交流を目的とした種目を、実行委員会で引き継ぎ実施した。(今年度の高校生は、賞品づくりで関わった)	多くの方が参加し楽しめるよう大玉送りを取り入れ、孫へのみやげといいものみ〜つけたを合体させお宝さがしを企画した。来年も引き続き、地域の皆さんが参加でき、楽しめる運動会としたい。 調整に難航しギリギリになってしまったがなんとか屋台も出すことができた。プログラムに屋台を掲載する、聖火リレーの花火をお宮であげるなど今年の反省を来年に活かしていきたい。 中学生もよく頑張ってくれた。
	冬季スポーツフェスティバル	(期 日)12/9(日) (参加)180名 誰もが気楽に体を動かし親睦を深められるよう複数の種目を取り入れ実施。 種目1:ワンふらバレー 種目2:囲碁ボール 種目3:スポーツ吹き矢	ワンふらも定着してきており3回返し(正規ルール)で実施しても良いと思う。予選会の人集めが大変だった等の声があげられており、時期の変更により人が集めやすくなるのかの検討をする必要がある。
	飯田市女性バレーボール大会	(期 日)11/11(日) (会 場)上郷小学校・上郷体育館 飯田市の女性バレーボール大会。 長野原分館が代表として出場。	今年度は、長野原代表として出場。成績は1勝2敗であったが、練習から楽しくやることが出来た。
	飯田市ニュースポーツフェスティバル	(期 日)11/25(日) 大なわとび記録会 参加:体育委員会有志 竜丘小5年の3クラス	体育委員有志にて参加。オープン(大人の部)で優勝した。スポーツ推進委員の声掛けにより竜丘小5年が参加。声掛けが大事。
	緑ヶ丘中学校区スポーツ推進委員・体育委員交流会	(期 日)2/10(日) (会 場)松尾小学校 (1)アイスブレイキング (2)ワンバウンドふらば〜るバレーボール (3)情報交換会	普段、企画・運営側の委員が参加者として楽しみ、活動の意義を再確認する機会として実施。スポーツ推進委員による工夫を凝らした進行で非常に楽しめた。今後も継続して参加していきたい。
	3地区合同バレーボール大会	今年度は未実施 (竜丘バレーボール連盟他)	今年、他の行事との兼ね合いから開催を見送った。来年春に実施予定。多くの方が参加できる日程を早めに押さえない。
	広報事業	館報「たつおか」発行	館報たつおか344号～348号 ・地域の現況を伝達する ・記録としての役割 ・地域課題・生活課題について問題提起 ・読みやすく親しまれる館報づくり ・竜丘地域自治会のホームページにも掲載する

## 平成30年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
民俗資料保存事業	民俗資料保存事業	<p>地域の有形・無形の民俗資料を後世に伝えるための収集・保存活動を行うとともに、それらを広く公開していく。</p> <p>(1) 木下紫水関連資料の整理・保存                      (2) 祠、社、御堂等調査活動                      (3) 現代の記録映像作成                      (4) 民俗資料館の維持管理及び資料館の今後についての検討                      (5) 収蔵品の虫干し                      (6) 自由画保存顕彰委員会へ参画                      (7) 文化祭展示内容スクラップ作成                      (8) 小学生等への民俗資料の広報と活用体験学習等</p>	<p>・6月の古墳まつりへ協力                      ・民俗資料館の収蔵品の虫干しは、雨のため防虫剤の交換のみ実施。                      ・文化委員会と連携して、竜丘市民大学講座と、文化祭での民俗資料保存館見学会を実施。文化委員会と連携したことで広がりを見せた。                      ・文化祭では竜丘出身染色家三人展を実施。(下平清人、木下冬彦、酒向京一)作品を展示するだけでなく、説明会や、体験会を実施。竜丘に関係する多くの方が繋がる機会となり大好評であった。</p>
育成事業	飛んでいるギフチョウを見る会	<p>(期 日)4/14(土)                      (会 場)ギフチョウ公園                      飯田昆虫友の会の事業に参加。竜丘の宝であるギフチョウについての学習を深める機会。</p>	<p>残念ながらギフチョウは確認できなかった。絶滅の危機となっている。子どもの参加もほとんどないことから委員会としての関わりは今年度までとする。</p>
小学校はにわ作り支援	<p>(期日)4/30・5/11                      (会場)竜丘小学校                      社会科の歴史の授業で古墳について学習する6年生を対象に埴輪作りを指導。</p>	<p>竜丘で出土している円筒形埴輪の制作を指導した。授業とつながるコミュニティスクールの活動となっている。学業日となっているので参加できる人が限られる。</p>	
第11回 竜丘古墳まつり	<p>(期日)6/10(日) (参加人数)200名                      竜丘の誇る文化遺産を会場に、竜丘全体のまつりとして位置づけている。学びと交流を通して、古墳を広く知ってもらい今後の有効活用、保存活動に繋げていく。小学生が作った埴輪の野焼き、勾玉作り、火おこし体験、教育委員会による展示、古代食コーナー、埴輪作り体験、富本銭作り、古墳巡り、花の植え付け等。</p>	<p>竜丘古墳の会をはじめ各種団体の協力で古代の生活の一部やその魅力について伝えられた。例年のことではあるが野焼きで破損してしまう埴輪が出てしまい、悲しくて帰ってしまう子どもがいた。なんとかそのような子が出ないようにしっかり検討をしたい。子どもが主ではあるが大人の参加希望もあるようなので大人向けの企画も考えたい。</p>	
第1回 川で遊ぼう	<p>(期 日)8/26(日) (参加)86名                      企画委員会、PTAと共催事業。                      今の子ども達は、昔と比べ過保護な環境下にある。何をやるにしても周りの大人が環境を整える傾向がある。そこで今回は、ありのままの自然環境の中で、あきらめずに頑張ったり、工夫したりしながら魚を捕まえる経験を通して、子どもが本来持っている本能的なものを呼び覚まし、たくましさを育むことをねらう。</p>	<p>昨年度までは、水辺の楽校交流イベントとして開催していたものを、目的から見直して開催した。                      400匹のマスと目玉となる信州サーモン3匹を放流しつかみ取りを行った。例年より、多くの子が参加し楽しんでくれた。また役員の負担も軽減された。                      水辺の楽校の活用という課題は残っているが、子ども達にとっては良かったと思う。足をけがされた方が1名いるので事前に川のゴミ等入念に確認したい。</p>	
あいさつ運動	<p>(期日)統一行動8/27                      標語の募集・選定、のぼり旗作成、あいさつ運動月間の周知、各分館でのあいさつ運動現地指導                      分館では統一行動日以外にもう1日行動日を設定して実施。</p>	<p>テーマを決めて標語の募集を行った。                      8月27日を統一行動日として各分館の協力のもと地域全体であいさつ運動を展開した。これに合わせ小学校の朝会でもあいさつについての話をしていただき、あいさつの大切さについて深める機会をとれた。</p>	

## 平成30年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
古墳の会	学習部会事業	5月11日(金)丘のみちしるべ探索 6月10日(日)古墳クイズラリー 10月21日(土)古墳めぐり	古墳まつりでは、小学生を対象に恒例となった塚原古墳群のクイズラリーを開催。多くの子どもが話に耳を傾けてくれた。古墳に親しみ、少しでも古墳のことを知ってもらえる機会となった。
	塚原二子塚古墳公園推進部会事業	・花法師の会、カタバミの会活動 ・4月30日・5月8日埴輪づくり指導 ・11月11・12日トンボ玉づくり ・除草作業3回	全体整備3回、請負整備200時間投入して、いつもきれいな古墳を維持できた。 花法師の会の皆さんにより、サルビアおよびジニアの植栽が出来た。
	調査・広報部会事業	・各種団体の視察受け入れ 竜丘小丘のみちしるべ探索、緑ヶ丘中1年、宮下衆議院議員、東京都港区古代史研究会、竜丘歩こう会ほか	見学受け入れにあたっては、古墳の会役員だけでなく、案内者の養成が必要であり、見学会を実施したがJA祭と日程が重なり参加者は少なかった。
自由画保存顕彰事業	自由画保存顕彰事業 自由画の保存と顕彰を図る。 ・先生と丘の子サポーターの交流会にて「100周年を迎える竜丘自由画教育」を講演 ・竜丘小にパネル展示コーナー設置	これまでいただいていた寄付を活用し、竜丘小学校玄関に展示スペースを作成することができた。2019年は竜丘小で開催された第2回全国自由画展覧会から100周年。美博と連携し、自由教育・自由画の顕彰に努める。館報たつおかへ、広報委員会の協力を得て、毎号自由画の紹介をすることが出来た。	
図書館	飯田中央図書館竜丘分館事業	図書館の事業を補助 お楽しみ会、クリスマス会、かるた会他	図書分館の利用率は飯田市内でもトップクラスであり、今後も図書館の活動を支援していく。
学級・講座	大人の学校	60歳以上の住民を対象に、高齢者層のまとまりと生きがい、地域参画を図る。運営委員中心にして、月1回の定例講座を開催。 運営委員会・班長会・定例会(講座)・クラブ長会などを随時実施。	高齢化社会の地域において、益々重要な役割を果たしている。設立当初の理念を大事にし、積極的な学習講座を展開している。特に、健康については毎月の講座に合わせて、重点的に取り組んだ。
	日本語教室「好友会(ハオユウカイ)」	中国帰国者やベトナム等からの研修生を中心に、生活に困らない程度の日本語、習慣、文化の理解、情報交換、交流の場とする。 講師:樫野武司、西川和憲、善本勝、片町國臣	昨年12月に主に活動を支えてくださった講師がお亡くなりになられた。それを受けて今後の活動について話し合う場を設け、この教室が、参加者にとって言葉を学ぶだけではない大切な場所になっているという声が多く寄せられ、基本的に現在のペースで今後も実施していくこと等を確認・共有した。
	乳幼児教育支援(0.1.2.3歳児学級)	講師に保健師、保育士資格者をお願いし、育児不安を解消し、親の交流、親子のふれあいの場、乳児の成長発達や育児法などについて学習する場とする。	女性が公民館に関わる貴重な機会であり、悩みや地域への想いなどを聞き、公民館活動につなげていきたい。
	家庭教育講座	(期 日)11/27(火) (参加)38名 竜丘保育園との共催で行う。 親子での人形劇観劇を通し、親子のふれあいを図るとともに、保護者を対象に家庭教育についての講演会を行う。	竜丘保育園との合同で開催。園児やその保護者、未就園児の親子に人形劇を観劇することで、異年齢交流や人形劇のまちづくりにつながる機会となった。

## 平成30年度 竜丘公民館 事業報告

	事業名等	実施内容	反省・総括
委員研修	委員研修「丘のみちしるべ」	(期 日) 5/13(日) 丘のみちしるべを活用し、公民館委員や先生方を対象とした学習会の実施。 駄科コース	改訂から4年が経過。 年度当初に、委員の学習、交流の場として位置づけ実施。来年度は改選期でもあり、この機会を通じて、竜丘を再発見する機会、交流の機会として継続して実施していきたい。
	Cブロック公民館情報交換会	(期 日) 6/16(土) 文化、体育、広報、育成の5地区の委員が集まり、それぞれの分科会に分かれ研修や情報交換を行った。	松尾地区が主担当。体育委員会は竜丘が担当した。各委員会に分かれ、学習・交流の機会となった。
	視察研修旅行	(期 日) 2/9(日) (内容) 舟下り他 公民館委員として、他地域の活動を体験・学習することを通して、地域課題の解決に向けた取り組みを考えるとともに、地域を担っていく資質の向上に努める。	今年度の研修担当は文化委員会。 当初9/30に予定していたが、台風のため延期。市民大学講座で取り上げた鷺流峡を下から見るべく舟下りとし、良い機会となった。
その他	飯田市公民館大会参加	(期 日) 2/17(日) 大会テーマ “関わり つながり 学びあう”心豊かな暮らし・地域をめざして 分科会テーマ ①人形劇、②若者、③スポーツ活動、④分館活動、⑤つながり、⑥ムトス	竜丘からは16名が参加。基調講演では松本大学白戸洋教授の講演を聞き、その後、分科会では共通のテーマを基に、他地区の事例を聞くと共に、情報交換を行った。公民館活動を振り返る機会となった。
	JICA研修受け入れ	(期 日) 8/21(火) JICAのプログラムPLSD研修を受け入れ。自治や公民館についての講義、現地研修等を実施。竜丘公民館本館での受け入れに加え、駄科分館での受け入れも継続され6年目となった。	竜丘をはじめとした飯田市の公民館活動が、途上国を中心に注目を集めている。この研修を通して、飯田の地域のすごさを学び、公民館活動を見つめ直す機会となっている。竜丘地区からは、下平隆司氏、宮嶋聡子氏、鈴木運友氏が講師として登壇した。
	小学校クラブ活動支援事業	小学校の17のクラブ活動の指導を大人の学校を中心に地域の講師(地区の匠)が行った。 全10時間の指導とクラブ発表会を支援した。	社会教育団体の地域貢献と、世代間交流の意味から重要な事業となっている。コミュニティスクールをきっかけとして、地域の子どもを地域で育てる活動の中核事業として充実させていきたい。
	放課後子ども教室「丘の子YOU遊」	(期 日) 毎週水曜 (登録) 55人 リーダー研修、集団行動訓練、野球、囲碁ボール、スポーツ吹き矢、ドッチビー、剣玉、おしなご、工作、太鼓、自主学习、英語、お菓子作り、南京玉すだれ、本の読み聞かせ	子供たちの社会性や想像力を育てる点で、重要な事業である。 コミュニティスクールの一環として、子どもの育ちと地域の関わりを大切にしたい。 メニューの工夫や新たなスタッフ募集など、充実させていく。
	地域人教育事業	飯田OIDE長姫高校商業科「地域人教育」実施 (高校・松本大学・市のパートナーシップ協定による) ・鷺流峡整備、ライトアップイベントへの参画、運動会種目への賞品づくりと配布	竜丘地区としては3年目の取り組み。高校生の生きる力を育むと共に、人材サイクル構築の一環として取り組まれている。地域にとっても高校生にとってもより豊かな暮らしにつながる機会としたい。